

日本洋装協会経歴

昭和22年	設立	日本洋装協会設立 昭和22年3月、我国洋装業界の戦争中の空白を憂い、洋装技術の向上と洋装普及を図り婦人服装文化の発展に寄与するため、明治以来の伝統をうけつぐ技術者、新進の若きドレスメーカー、洋装関係学識経験者が集まって、本協会が創立されました。
	講習会	毎月洋装技術・技能及び関連学科の初歩からの研修会や、洋装技術経験者を対象として高度な専門技術と関連学科の講習会を開催。
	講師派遣	地方の要望にこたえ、本協会から講師を派遣して講習会開催。
昭和27年	洋装技能者養成制度の実施	労働省労働基準局から委嘱を受けて、洋裁技能者養成制度の立案と、教習計画の樹立、技能検定基準の作成について協力し、同年7月に洋裁技能者養成制度が実施されました。 ついで、洋裁工指導者の立案、洋裁指導員認定審査、洋裁指導員認定試験の実施に協力。
昭和28年	全国化繊婦人子供服コンクール	全国化繊婦人子供服コンクールを開催。 毎日新聞社・日本繊維新聞社・日本化学繊維協会後援、日本橋三越7階に百数十点を展示、優秀作品に総理・通産・労働・厚生・文部各大臣賞を授与。
昭和31年	社団法人の認可	4月30日、通商産業省、労働省の両省の認可により「社団法人日本洋装協会」として新発足。
	資格試験の実施	(社)日本洋装協会2級・3級洋裁士認定及び検定試験実施～昭和33年。 昭和35年には同上及び1級検定試験実施
昭和33年	表彰式	勤続5年以上の優良従業員の表彰式実施
昭和34年	職業訓練事業	職業訓練法による事業内職業訓練の共同訓練を行うため、(社)日本洋装協会東京協同職業訓練所を設置、東京都新宿区の牛込公共職業訓練所内に教室を設け、職業訓練を実施。 昭和35年東京都知事の認定。
	技術コンクール実施	9月、日本都市センターホールにおいて、第1回全日本洋装技術コンクール発表会開催。 以降、年1回実施。
昭和40年	技能認定の実施	洋裁技能検定1級・2級試験が実施される。